

パナヘッドエンド装置 AT-8050

(ビデオAGC付き)

■ 概 要

パナヘッドエンドは、学校・ビル・ホテル等のCATVシステムに用いるもので、テレビ放送波の空きチャンネル周波数にのせた自主制作番組とVHF、UHFのテレビ放送およびFM放送を同時に送り出す装置です。

本機はレベルコントロール部と変調、増幅、混合部とから構成され、非常にコンパクトにまとめてありますので卓上型として、あるいは他の機器とともにラック（架）や、AV調整卓に組み込み使用することができます。

■ 特 長

- VHFテレビ受信チャンネル（7波まで）およびFM放送波を、各受信チャンネルごとにレベルコントロールできます。
- テレビカメラ、テレシネ装置等を用いて、鮮明なカラー自主番組を3チャンネルまで再送信と同時に伝送します。
- 自主番組はVHF帯で隣接チャンネル伝送も可能です。
- 映像入力には、AGC回路を内蔵しておりますので、過入力に対しても常に鮮明なカラー自主番組を送出することができます。

■ 構 成

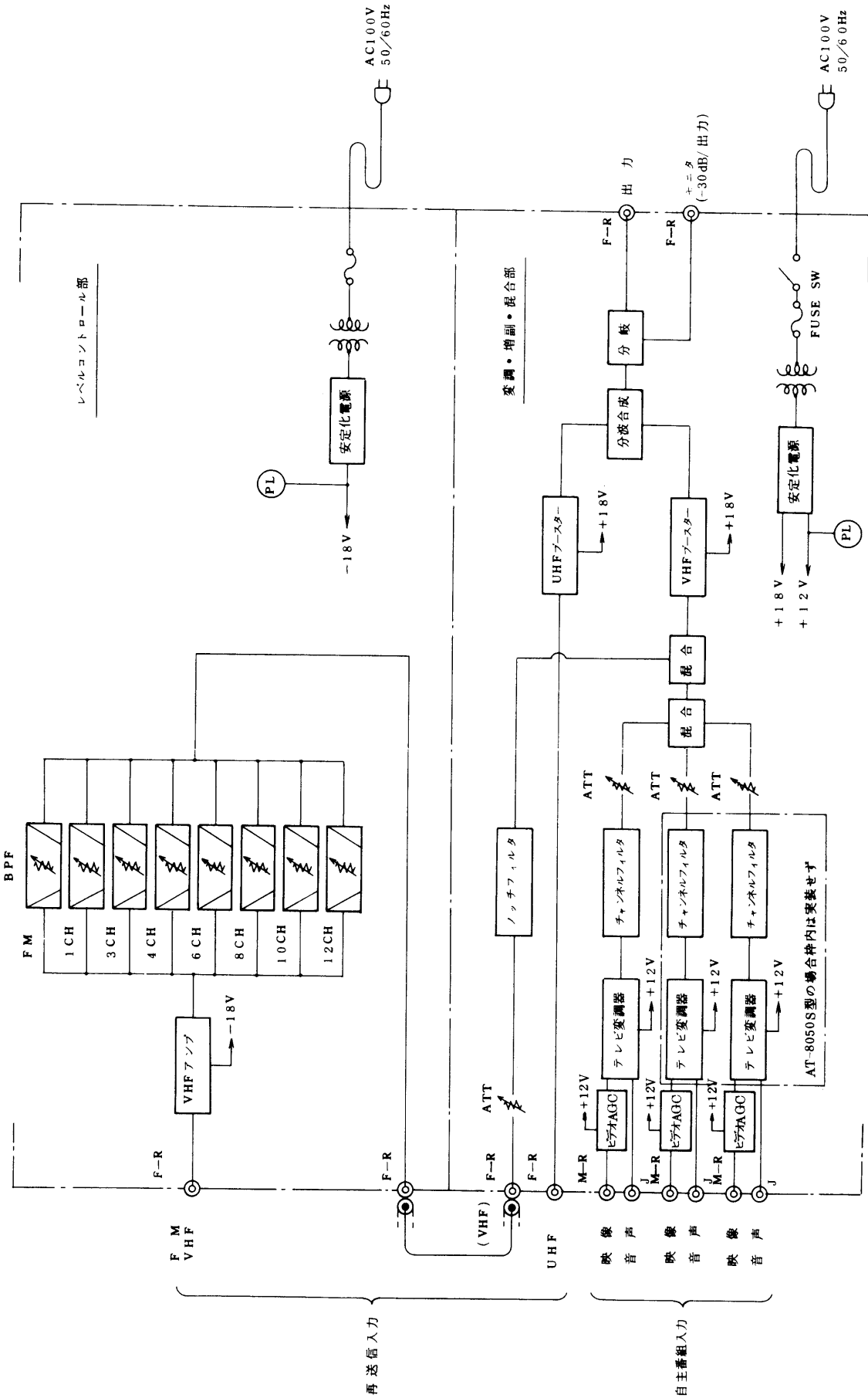
- AT-8050型 自主放送VHF出力3チャンネル
 - AT-8010型 レベルコントロール部
 - AT-8000型 変調、増幅、混合部
- AT-8050S型 自主放送VHF出力1チャンネル
 - AT-8010型 レベルコントロール部
 - AT-8000S型 変調、増幅、混合部

■ 定 格

		再 送 信	自 主 放 送
入	周 波 数	FM およびVHF, UHFのテレビチャンネル	映 像 信 号 (V) 音 声 信 号 (A)
	インピーダンス	77Ω	V: 75Ω A: ハイインピーダンス (不平衡)
カ	レ ベ ル	70dB μ +5dB -10dB	V: 1.0V _{p-p} A: 0dBs (不平衡)
	周 波 数	受信チャンネルと同じ	VHF指定の空きチャンネル
出	インピーダンス	75Ω	
	最大出力レベル	110dB μ	
利 得 可 変 範 囲	VHF入力各チャンネル	0 ~ +10dB 0 ~ -5dB	連続可変
電 源	AC 100V	50/60Hz	
消 費 電 力	60VA以下		
使 用 条 件	周 囲 温 度 動 作	-10°C ~ +40°C 連続使用	
入 出 力 コ ネ ク タ	VHF入力:F型 UHF入力:F型 出力:F型 モニタ端子:F型	映像入力:M型 音声入力:2Cジャック担当	
外 形 寸 法	420(W)×220(H)×300(D)		

※ラック（架）取付の場合、付属のL金具を使用します。

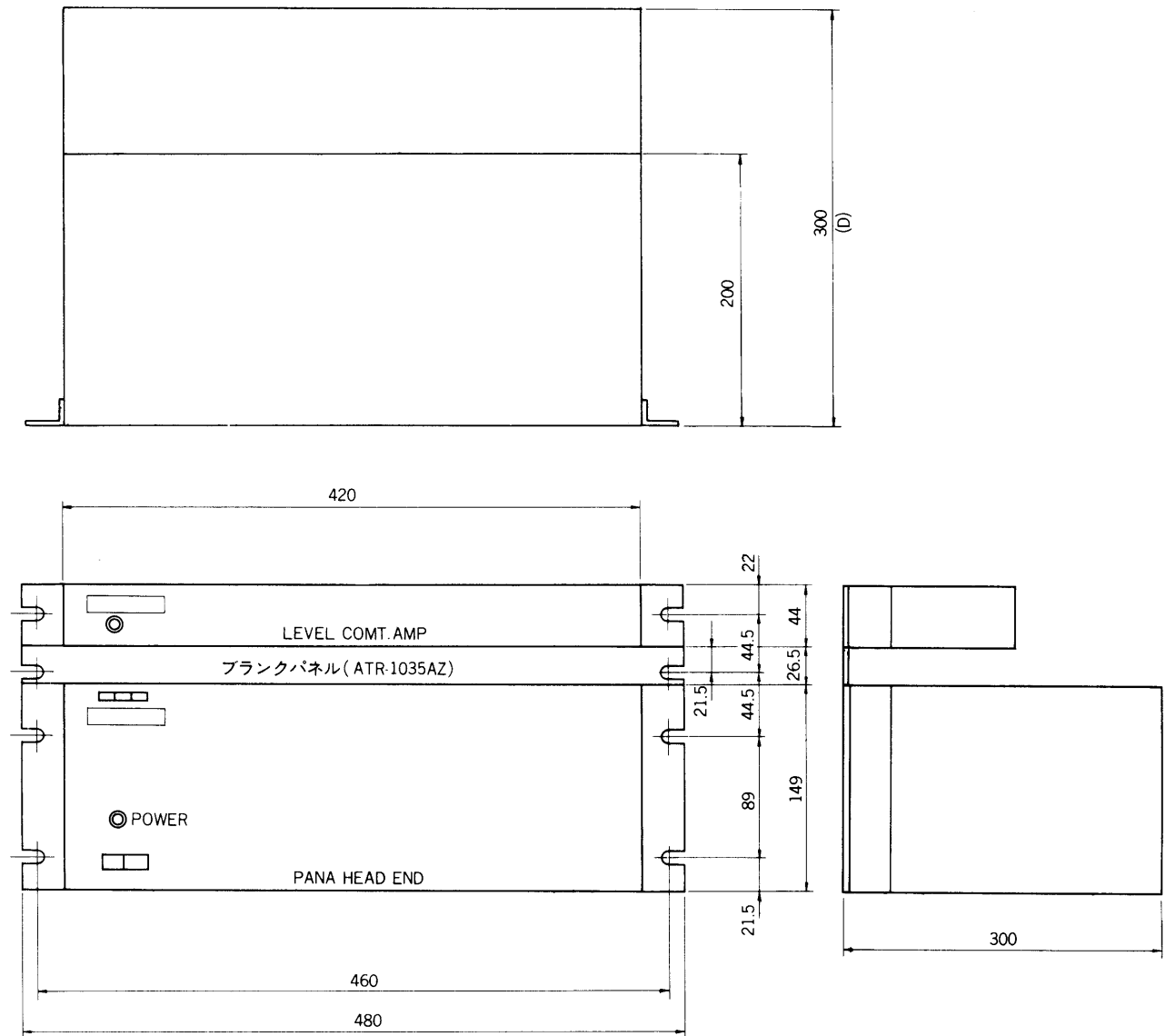
■ブロックダイアグラム



注) 入力チャンネルは東京7波の場合の例

■ 外観寸法図

■ E I A規格のラックに実装する場合はブランクパネルを使用し下図のように実装して下さい。



単位	mm
縮尺	1/5